

旧石器・縄文・弥生時代

001 数十万年前の日本で多く利用されていた道具と考えられる道具は何か

打製石器

002 縄文時代が始まるきっかけは何か

氷河期の終了

003 弥生時代が始まるきっかけは、大陸から何が伝わったからか

稲作

004 日本に旧石器時代といえる時期がある証拠がはじめて発見された遺跡はどこか

岩宿遺跡

005 ナウマン象の化石や打製石器が出土したことで知られる旧石器時代の遺跡はどこか

野尻湖遺跡

006 日本で最初に調査が行われた貝塚はどこか

大森貝塚

007 千葉県にある国内最大級の貝塚はどこか

加曾利貝塚

008 糞石や丸木舟など、他に見られない出土物が見られる福井県の遺跡はどこか

鳥浜貝塚

009 青森県で発掘された、縄文時代最大級の遺跡はどこか

三内丸山遺跡

010 国内で最初期の水田跡が出土した、福岡県の遺跡はどこか

板付遺跡

011 水田跡や高床倉庫が出土した、静岡県の遺跡はどこか

登呂遺跡

012 日本最大級の環濠集落が出土した、佐賀県の遺跡はどこか

吉野ヶ里遺跡

013 漢委奴国王の金印はどこで出土したか

志賀島

014 邪馬台国の所在地を近畿地方とする説の論拠となる、卑弥呼の墓ともいわれる遺跡はどこか

纏向遺跡（箸墓古墳）

015 中国の歴史書のうち、日本に関するもっとも古い記述があるものは何か

『漢書』地理志

016 「漢委奴国王」について書かれた中国の歴史書は何か

『後漢書』東夷伝

017 邪馬台国と女王卑弥呼について書かれた中国の歴史書は何か

『魏志』倭人伝

018 人々が主に狩猟と採集によって生活し、打製石器を利用していた時代を何というか

旧石器時代

019 地球の氷河期が終了し、温暖化することで開始した日本の時代区分は何か

縄文時代

020 稲作の伝来に伴う社会の変化から開始した日本の時代区分は何か

弥生時代

021 縄文時代の開始時期はおよそいつ頃か

約1万6千年前

022 弥生時代の開始時期はおよそいつ頃か

紀元前10世紀ころ

023 『漢書』地理志に書かれているのは、何世紀の日本のことか

紀元前1世紀

024 『後漢書』東夷伝で奴国に金印を授けたのは、何世紀のことか

1世紀

025 『魏志』倭人伝で、邪馬台国の女王が使いを送ってきたとあるのは、何世紀のことか

3世紀

026 日本における旧石器時代の人々の主な住居は何か

洞窟や岩かげ

027 旧石器時代の日本のようすを説明せよ

大陸と地続きであった

028 打製石器の作り方を説明せよ

石どうしをぶつけ、欠けてとがった部分を利用した

029 磨製石器の作り方を説明せよ

石や砂を使って、石をみがいて鋭くした

030 竪穴住居の作り方を説明せよ

地面に穴を掘って柱を立て、屋根をかぶせる

031 貝塚とは何か説明せよ

縄文人のゴミ捨て場

-
- 032 鳥浜貝塚から出土し、縄文人の食生活を解明するのに役立ったものは何か
- 糞石
-
- 033 埼玉県富士見市の水子貝塚や、蓮田市の黒浜貝塚の存在から分かることは何か
- 当時の海岸線が現在の関東地方内陸部にあったこと
-
- 034 縄文時代の人々はどのように埋葬されていたか
- 屈葬
-
- 035 縄文時代の人々に貧富の差がなかったと考えられる理由は何か
- 死者の埋葬法に違いが見られないこと
-
- 036 縄文時代の人々に身分の差がなかったと考えられる理由は何か
- 狩猟・採集生活のため食料の貯蔵ができないこと
-
- 037 縄文時代の人々が食料としたものは何か
- 栗・どんぐりなどの木の实やイノシシ・鹿などの獣肉、貝類、魚類など
-
- 038 縄文時代の遺跡から出土する人形のようなものを何というか
- 土偶
-
- 039 弥生時代に、収穫した稲を保管するために建てられたものは何か
- 高床倉庫
-
- 040 弥生時代の人々に貧富の差が生まれた理由は何か
- 稲作の開始により、食料の貯蔵が可能となったこと
-
- 041 弥生時代の人々に身分の差ができた理由は何か
- 稲作の開始により、「むら」に指導者が生まれたこと
-
- 042 弥生時代に死者を埋葬していた入れ物は何というか
- かめ棺
-
- 043 弥生時代に見られる、まわりに柵を立て、堀をめぐらした集落を何というか
- 環濠集落
-
- 044 弥生時代に大陸から伝来した道具を総称して何というか
- 金属器
-
- 045 岩宿遺跡を発掘した考古学者は誰か
- 相沢忠洋
-
- 046 「漢委奴国王」に金印を与えたとされる皇帝は誰か
- 後漢の光武帝
-
- 047 大森貝塚を発見したのは誰か
- モース
-

048 『魏志』倭人伝に記された、魏に使いを送ったとされる女王の名は何か

卑弥呼

049 女王卑弥呼の死後、邪馬台国を治めたとされる女王は誰か

壹與（いよ、とよ）

050 野尻湖遺跡がある都道府県はどこか

長野県

051 岩宿遺跡がある都道府県はどこか

群馬県

052 三内丸山遺跡がある都道府県はどこか

青森県

053 大森貝塚がある都道府県はどこか

東京都

054 鳥浜貝塚がある都道府県はどこか

福井県

055 板付遺跡がある都道府県はどこか

福岡県

056 登呂遺跡がある都道府県はどこか

静岡県

057 吉野ヶ里遺跡がある都道府県はどこか

佐賀県

058 漢委奴国王の金印が出土した志賀島がある都道府県はどこか

福岡県

059 弥生時代ごろ、数百年にわたり中国を治めていた王朝は何か、1文字で答えよ

漢

060 漢書や後漢書では、日本のことを何と表しているか

倭

061 『後漢書』東夷伝で金印を授かったとされる、日本（倭）の国は何か

奴国

062 『魏志』倭人伝に記された、女王の治める国の名は何か

邪馬台国

063 縄文時代に用いられた道具を4種類挙げよ

打製石器、磨製石器、骨角器、縄文土器

- 064 縄文土器の特徴は何か
厚手で、飾りや模様が
多い
- 065 弥生土器の特徴は何か
薄手で固く、模様があ
まり見られない
- 066 弥生時代に、稲を収穫するために用いられた道具は何か
石包丁
- 067 弥生時代から利用されている、水田で足が沈まないように
するための道具は何か
田下駄
- 068 弥生時代の鉄器は何に使われたか
武器や木材加工の道具
- 069 弥生時代の青銅器の使い道はどのようなものであったか
銅鏡・銅鐸などの祭具
- 070 縄文時代の人々が食べかすや土器の破片など捨てた場所を
何というか
貝塚
- 071 土偶はどのような目的で作られたと考えられるか
安産や豊作を祈るまじ
ないの道具
- 072 高床倉庫はなぜ床を高くしたか説明せよ
収穫した米を湿気から
守り、害虫・害獣の侵
入を防ぐため
- 073 環濠集落の存在からわかることは何か
弥生時代にはむら（く
に）の間で争いが起こ
っていたこと
- 074 青森の三内丸山遺跡から、新潟県産の何が出土したか
ひすい
- 075 青森の三内丸山遺跡から、北海道産の何が出土したか
黒曜石
- 076 野尻湖遺跡から出土したものは何か
ナウマン象、オオツノ
ジカの化石
- 077 岩宿遺跡から出土したものは何か
黒曜石製の打製石器
- 078 石どうしをぶつけ、欠けてとがった部分を利用した道具を
何というか
打製石器
- 079 石や砂を使って、石を磨いてできた道具を何というか
磨製石器

080 動物の骨や角を利用してつくった道具を何というか

骨角器

081 弥生時代に用いられた金属のうち、木材を加工する道具や、武器などとして利用されたものは何か

鉄

082 弥生時代に用いられた金属のうち、おもに祭事やまじないに使われたものは何か

青銅

083 弥生時代、身分の高い死者のかめ棺に、死者とともに埋葬されたものを何というか

副葬品

084 日本の時代区分の中で、打製石器がはじめて使用された時代は何か

旧石器時代

085 日本の時代区分の中で、磨製石器の利用が広まった時代は何か

縄文時代

086 日本の時代区分の中で、骨角器の利用が広まった時代は何か

縄文時代

087 縄文時代より前の時代を何というか

旧石器時代

088 岩宿遺跡は何時代を代表する遺跡か

旧石器時代

089 野尻湖遺跡は何時代を代表する遺跡か

旧石器時代

090 大森貝塚は何時代を代表する遺跡か

縄文時代

091 三内丸山遺跡は何時代を代表する遺跡か

縄文時代

092 登呂遺跡は何時代を代表する遺跡か

弥生時代

093 吉野ヶ里遺跡は何時代を代表する遺跡か

弥生時代

094 土偶が作成されたのは主に何時代か

縄文時代

095 日本の歴史上、旧石器時代の次の時代を何というか

縄文時代

旧石器・縄文・弥生時代

□096 日本の歴史上、縄文時代の次の時代を何というか

弥生時代

□097 『後漢書』東夷伝に記され、志賀島から発掘された金印に刻まれた称号は何か

漢委奴国王

□098 邪馬台国の女王卑弥呼が中国の王朝から授かったとされる称号は何か

親魏倭王

□099 相沢忠洋により発掘された遺跡は何か

岩宿遺跡

□100 明治時代にモースによって発見された遺跡はどこか

大森貝塚

□101 「楽浪海中に倭人あり」と書かれた中国の歴史書は何か

『漢書』地理志

□102 「倭人は帯方の東南大海の中にあり」と書かれた中国の歴史書は何か

『魏志』倭人伝

図の道具の名前と、主に使われた時代を答えよ

□103



縄文土器、縄文時代

図の道具の名前と、使われた始めた時代を答えよ

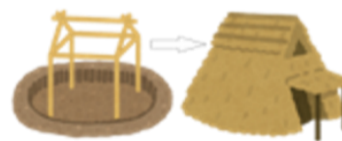
□104



打製石器、旧石器時代

図の建物の名前と、使われた始めた時代を答えよ

□105



竪穴住居、縄文時代

図の建物の名前と、使われ始めた時代を答えよ

□106



高床倉庫、弥生時代

図の道具の名前と、主に作られた時代を答えよ

□ 107



土偶、縄文時代

図の道具の名前と、使われた始めた時代を答えよ

□ 108



弥生土器、弥生時代

図の道具の名前と、使われた始めた時代を答えよ

□ 109



石包丁、弥生時代

図の道具の名前と、作成に用いられた材質を答えよ

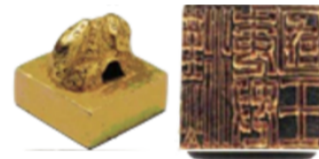
□ 110



銅鐸、青銅

図の道具に刻まれた文字と、発掘された場所を答えよ

□ 111



漢委奴国王印、志賀島

次の出来事を時代が古い順に並べよ

□ 112 【ア.邪馬台国が魏に使者を送る イ.稲作が九州に伝来
ウ.日本列島の形成 エ.打製石器の利用】

エ→ウ→イ→ア

次の出来事を時代が古い順に並べよ

□ 113 【ア.漢委奴国王印を受ける イ.金属器の伝来 ウ.打製石
器の普及 エ.縄文土器の普及】

ウ→エ→イ→ア

次の書物を記載された時代が古い順に並べよ

□ 114 【ア.『魏志』倭人伝 イ.『後漢書』東夷伝 ウ.『漢書』
地理志】

ウ→イ→ア

次の遺跡を時代が古い順に並べよ

□ 115 【ア.吉野ヶ里遺跡 イ.岩宿遺跡 ウ.大森貝塚】

イ→ウ→ア

次の遺跡を時代が古い順に並べよ

□ 116 【ア.野尻湖遺跡 イ.三内丸山遺跡 ウ.登呂遺跡】

ア→イ→ウ

旧石器・縄文・弥生時代解答

001	打製石器	数十万年前の日本は旧石器時代にあたり、主に打製石器が利用されていたと考えられる
002	氷河期の終了	氷河期が終わり温暖化することで食料が増え、煮炊きをするための土器が用いられるようになり、縄文時代へと移行した
003	稲作	稲作の伝来により、社会に大きな変化が生じて縄文時代から弥生時代へと移行する
004	岩宿遺跡	群馬県の岩宿遺跡で、数万年前の地層（関東ローム層）から打製石器が発掘されたことにより、日本における旧石器時代の存在が明らかになった
005	野尻湖遺跡	長野県の野尻湖遺跡からは、打製石器とともに大陸に住むナウマン象やオオツノジカの化石が発掘された
006	大森貝塚	東京都の大森貝塚は、明治時代のお雇い外国人であったモースにより偶然発見され、調査が行われた
007	加曽利貝塚	千葉県千葉市にある加曽利貝塚は、直径100mを越える巨大な貝塚で、縄文後期の土器も出土した
008	鳥浜貝塚	福井県の鳥浜貝塚は水没した状態で保存されていたため、糞石や丸木舟など他にない出土品が見られた
009	三内丸山遺跡	青森県の三内丸山遺跡は、大型の堀立柱建物で知られる縄文時代最大級の遺跡で、500人以上の人が居住していたと考えられている
010	板付遺跡	福岡県の板付遺跡では、日本で最初期にあたる縄文時代末期の水田跡が出土した
011	登呂遺跡	静岡県登呂遺跡は、水田跡や高床倉庫が見つかった弥生時代を代表する遺跡である
012	吉野ヶ里遺跡	佐賀県の吉野ヶ里遺跡は大規模な環濠集落跡や、多くのかめ棺が出土した、弥生時代を代表する遺跡である
013	志賀島	『後漢書』東夷伝には漢委奴国王印についての記述があり、福岡県の志賀島からその金印が出土した
014	纏向遺跡（箸墓古墳）	奈良県にある箸墓古墳は卑弥呼の墓ともいわれ、関東から九州までの広い地域の土器が出土する
015	『漢書』地理志	『漢書』地理志には紀元前1世紀ごろの日本（倭国）の記述が見られる

016	『後漢書』東夷伝	『後漢書』東夷伝には、倭の奴国の王が使者を送ってきたので金印を授けたとの記述がある
017	『魏志』倭人伝	『魏志』倭人伝に、邪馬台国の女王卑弥呼が使者を送り、親魏倭王の印を授かったと記されている
018	旧石器時代	人々が主に狩猟と採集によって生活し、打製石器を利用していた時代を旧石器時代という
019	縄文時代	氷河期が終わり温暖化することで食料が増え、煮炊きをするための土器が用いられるようになり、縄文時代へと移行した
020	弥生時代	稲作の伝来により、社会に大きな変化が生じて縄文時代から弥生時代へと移行する
021	約1万6千年前	約1万6千年前ごろ、氷河期の終了とともに旧石器時代から縄文時代へと移行する
022	紀元前10世紀ころ	弥生時代の開始時期には諸説あるが、日本での稲作が始まる紀元前10世紀ころからを弥生時代と考えることができる
023	紀元前1世紀	『漢書』地理志には紀元前1世紀ごろの日本（倭国）の記述が見られる
024	1世紀	1世紀（57年）に、後漢の光武帝が漢委奴国王印を授けたと『後漢書』東夷伝に記される
025	3世紀	3世紀（239年）に魏王が邪馬台国の女王卑弥呼に親魏倭王の印を授けたと、『魏志』倭人伝に記されている
026	洞窟や岩かげ	旧石器時代の人々は定住せず、食料を求め洞窟などで移住生活を営んだ
027	大陸と地続きであった	旧石器時代は氷河期にあたり、海面が低く日本列島は大陸と地続きであった
028	石どうしをぶつけ、欠けてとがった部分を利用した	石どうしをぶつけ、欠けてとがった部分を利用する道具を打製石器という
029	石や砂を使って、石をみがいて鋭くした	石や砂を使って、石を磨いて鋭くした道具を磨製石器という
030	地面に穴を掘って柱を立て、屋根をかぶせる	縄文時代の人々は地面に穴を掘って柱を立て、屋根をかぶせる竪穴住居に居住していた
031	縄文人のゴミ捨て場	縄文時代の人々のゴミ捨て場を貝塚といい、当時の人々の生活を知る手がかりとなる

032	糞石	福井県の鳥浜貝塚からは人糞の化石が出土し、縄文人の食生活が明らかになった
033	当時の海岸線が現在の関東地方内陸部にあったこと	縄文時代は温暖化に伴う縄文海進によって、現在の埼玉県までが海沿いにあった
034	屈葬	縄文時代の人骨は、手足を折り曲げた形の屈葬で葬られているものが多い
035	死者の埋葬法に違いが見られないこと	縄文時代には、貧富の差や身分の差がなかったと考えられる
036	狩猟・採集生活のため食料の貯蔵ができないこと	縄文時代には、貧富の差や身分の差がなかったと考えられる
037	栗・どんぐりなどの木の实やイノシシ・鹿などの獣肉、貝類、魚類など	縄文時代には米や麦などの農耕は行われず、狩猟と採集による食生活であった
038	土偶	縄文時代の遺跡から出土する人形を土偶という
039	高床倉庫	弥生時代には、収穫した稲を保管するために高床倉庫が建てられた
040	稲作の開始により、食料の貯蔵が可能となったこと	弥生時代は稲作によって食料が貯蓄できるようになり、人々のあいだに貧富の差が生まれた
041	稲作の開始により、「むら」に指導者が生まれたこと	弥生時代には、稲作の共同作業のため「むら」が形成され、そこに指導者が生まれ、人々のあいだに身分の差が生じた
042	かめ棺	弥生時代の死者はかめ棺に埋葬され、身分が高い死者の墓には副葬品が収められていた
043	環濠集落	弥生時代にはむらどうしの争いが起こり、環濠集落をつくって争いに備えていた
044	金属器	弥生時代には、大陸から金属器が伝来し武具や祭具として利用された
045	相沢忠洋	相沢忠洋が岩宿遺跡を発見したことにより、日本における旧石器時代が明らかとなった
046	後漢の光武帝	『後漢書』東夷伝には、倭の奴国の王が使者を送ってきたので金印を授けたとの記述がある
047	モース	動物学者エドワード・モースは明治政府のお雇い外国人として来日し、文部省を訪れる途中の汽車中から大森貝塚を発見した

048	卑弥呼	『魏志』倭人伝に、邪馬台国の女王卑弥呼が使者を送り、親魏倭王の印を授かったと記されている
049	壹與（いよ、とよ）	邪馬台国は女王卑弥呼の死後、男王を立てるも国が治まらず、女王壹與を立てて乱を収めたとされる
050	長野県	長野県の野尻湖遺跡からは、打製石器とともに大陸に住むナウマン象やオオツノジカの化石が発掘された
051	群馬県	群馬県の岩宿遺跡で、数万年前の地層（関東ローム層）から打製石器が発掘されたことにより、日本における旧石器時代の存在が明らかになった
052	青森県	青森県の三内丸山遺跡は、大型の堀立柱建物で知られる縄文時代最大級の遺跡である
053	東京都	東京都の大森貝塚は、モースが汽車の窓から偶然見つけたことにより発掘が進んだ
054	福井県	福井県の鳥浜貝塚は水没した状態で保存されていたため、糞石や丸木舟など他にない出土品が見られた
055	福岡県	福岡県の板付遺跡では、日本で最初期にあたる縄文時代末期の水田跡が出土した
056	静岡県	静岡県の登呂遺跡は、水田跡や高床倉庫が見つかった弥生時代を代表する遺跡である
057	佐賀県	佐賀県の吉野ヶ里遺跡は大規模な環濠集落跡や、多くのかめ棺が出土した、弥生時代を代表する遺跡である
058	福岡県	福岡県の志賀島は博多湾をふさぐような形になる陸繋島で、江戸時代に漢委奴国王印が出土した
059	漢	日本が弥生時代のころ、中国は漢（前漢・後漢）王朝が統一していた
060	倭	中国の歴史書では、日本のことを倭と呼んでいる
061	奴国	『後漢書』東夷伝には、倭の奴国の王が使者を送ってきたので金印を授けたとの記述がある
062	邪馬台国	『魏志』倭人伝に、邪馬台国の女王卑弥呼が使者を送り、親魏倭王の印を授かったと記されている
063	打製石器、磨製石器、骨角器、縄文土器	縄文時代には引き続き打製石器が使われたほか、磨製石器、骨角器、縄文土器が利用されたが、金属器はまだ使われていない

064	厚手で、飾りや模様が 多い	初期の土器の多くには縄目の文様がつけられているため、縄文土器と命名された
065	薄手で固く、模様があ まり見られない	紀元前4世紀頃から現れた新しい土器は、出土した東京都文京区弥生の地名より弥生土器と命名された
066	石包丁	弥生時代には、稲の収穫に石包丁を用いた
067	田下駄	田下駄は改良を重ねつつ20世紀まで使用され続けた
068	武器や木材加工の道具	弥生時代の鉄器は、木材を加工する道具や、武器として利用され、農具としては利用されなかった
069	銅鏡・銅鐸などの祭具	弥生時代に使われた青銅器は、柔らかく実用性に欠けるため、祭事やまじないに用いられたと考えられる
070	貝塚	縄文時代の人々のゴミ捨て場を貝塚といい、当時の人々の生活を知る手がかりとなる
071	安産や豊作を祈るまじ ないの道具	土偶の多くは女性をかたどっていることから、安産や豊作を願うまじないの道具として作られたと考えられている
072	収穫した米を湿気から 守り、害虫・害獣の侵 入を防ぐため	床を高くすることで風通しをよくするとともに、ネズミ返しとよばれる角度をつけた板がはめられていた
073	弥生時代にはむら（く に）の間で争いが起こ っていたこと	柵で囲い、濠（ほり）を巡らせた集落は、戦いに備えるためのものだったと考えられる
074	ひすい	青森県の三内丸山遺跡から、新潟県産のひすいが出土することから、交易が行われていたと想像される
075	黒曜石	青森県の三内丸山遺跡から、北海道産の黒曜石が出土することから、交易が行われていたと想像される
076	ナウマン象、オオツノ ジカの化石	長野県の野尻湖遺跡からは、打製石器とともに大陸に住むナウマン象やオオツノジカの化石が発掘された
077	黒曜石製の打製石器	日本ではじめて打製石器の出土が確認されたのが岩宿遺跡である
078	打製石器	石どうしをぶつけ、欠けてとがった部分を利用する道具を打製石器という
079	磨製石器	石や砂を使って、石を磨いて鋭くした道具を磨製石器という

080	骨角器	動物の骨や角を使って、釣り針などに加工した道具を骨角器という
081	鉄	弥生時代の鉄器は、木材を加工する道具や、武器として利用され、農具としては利用されなかった
082	青銅	弥生時代に使われた青銅器は、柔らかく実用性に欠けるため、祭事やまじないに用いられたと思われる
083	副葬品	弥生時代の死者はかめ棺に埋葬されたが、身分が高い死者の墓には副葬品が収められていた
084	旧石器時代	旧石器時代とは、打製石器を主に利用していた時代をさす
085	縄文時代	縄文時代には、それまでの打製石器（旧石器）に加え、磨製石器の利用も広まった
086	縄文時代	縄文時代には、矢じりや釣り針などに動物の骨や角を加工した骨角器の利用が広まった
087	旧石器時代	縄文時代には磨製石器（新石器）の使用がさかんになるため、それ以前の時代を旧石器時代という
088	旧石器時代	群馬県の岩宿遺跡で、数万年前の地層（関東ローム層）から打製石器が発掘されたことにより、日本における旧石器時代の存在が明らかになった
089	旧石器時代	長野県の野尻湖遺跡は、打製石器と、ナウマン象の化石が出土した旧石器時代の遺跡である
090	縄文時代	縄文時代の人々のゴミ捨て場を貝塚といい、当時の人々の生活を知る手がかりとなる
091	縄文時代	青森県の三内丸山遺跡は、大型の堀立柱建物で知られる縄文時代最大級の遺跡である
092	弥生時代	静岡県の登呂遺跡は、水田跡や高床倉庫が見つかった弥生時代を代表する遺跡である
093	弥生時代	佐賀県の吉野ヶ里遺跡は大規模な環濠集落跡や、多くのかめ棺が出土した、弥生時代を代表する遺跡である
094	縄文時代	縄文時代の遺跡から出土する人形を土偶という
095	縄文時代	旧石器時代の次にあたるのは、磨製石器（新石器）を利用する縄文時代である

096	弥生時代	稲作の伝来により、社会に大きな変化が生じて縄文時代から弥生時代へと移行する
097	漢委奴国王	『後漢書』東夷伝には漢委奴国王印についての記述があり、福岡県の志賀島からその金印が出土した
098	親魏倭王	『魏志』倭人伝に、邪馬台国の女王卑弥呼が使者を送り、親魏倭王の印を授かったと記されている
099	岩宿遺跡	相沢忠洋が岩宿遺跡を発見したことにより、日本における旧石器時代が明らかとなった
100	大森貝塚	動物学者エドワード・モースは明治政府のお雇い外国人として来日し、文部省を訪れる途中の汽車中から大森貝塚を発見した
101	『漢書』地理志	楽浪郡（朝鮮半島北部）の海中に倭国があると中国の史書にはじめて記載されたのが『漢書』地理志である
102	『魏志』倭人伝	帯方郡（朝鮮半島中西部）から東南の海に、山の多い島国が100あまりのむらやくにを作っていると、『魏志』倭人伝は記している
103	縄文土器、縄文時代	縄目の文様がつけられた土器を縄文土器といい、縄文時代に多く作られた 図の形状は火焰型土器ともよばれる
104	打製石器、旧石器時代	石どうしをぶつけ、欠けてとがった部分を利用する道具を打製石器といい、旧石器時代から使われた
105	竪穴住居、縄文時代	縄文時代には穴を掘り柱を立て、屋根をかぶせた竪穴住居に定住するようになった
106	高床倉庫、弥生時代	弥生時代には収穫した稲を貯蔵するための高床倉庫が建てられた
107	土偶、縄文時代	縄文時代には、土偶という人のかたどった人形が作られていた 図の形状は遮光器土偶とよばれるもの
108	弥生土器、弥生時代	薄くて堅く、模様のない土器を弥生土器といい、弥生時代に用いられた
109	石包丁、弥生時代	弥生時代には、稲の収穫に石包丁を用いた
110	銅鐸、青銅	弥生時代には、祭事に用いる銅鐸が青銅器で作られた
111	漢委奴国王印、志賀島	『後漢書』東夷伝には漢委奴国王印についての記述があり、福岡県の志賀島からその金印が出土した

112	エ→ウ→イ→ア	エ（数十万年前・旧石器時代）→ウ（約1万6千年前・縄文時代）→イ（紀元前10世紀ごろ・弥生時代開始）→ア（239年・弥生時代末期）
113	ウ→エ→イ→ア	ウ（旧石器時代）→エ（縄文時代）→イ（弥生時代初期）→ア（57年・弥生時代中期）
114	ウ→イ→ア	ウ（紀元前1世紀）→イ（1世紀）→ア（3世紀）
115	イ→ウ→ア	イ（旧石器時代）→ウ（縄文時代）→ア（弥生時代）
116	ア→イ→ウ	ア（旧石器時代）→イ（縄文時代）→ウ（弥生時代）